

96 「セミナー（自由大学?）」とは違う?もう一つの「教育協働への道」?!

堂本 彰夫

(1) 突然の、そして、嬉しい?メール!とは言え、彼に、どのような歳月が流れていたのか?

実数自体は、まるで奇跡のように激減しているが(他国と比べれば、まさしくそのように見える?)、まだまだ、新型コロナウイルス感染の脅威は続いている!年の瀬を迎え、特に、新しい「オミクロン株」の拡大が懸念されるが(沖縄でも広がりつつある?)、今年(2021年)も、あっという間に終わろうとしている(私にとっては、本当にそうである!)!そんな中、一昨々日、次のような、突然の、そして、嬉しい?メールが届いた!

お久しぶりです。〇〇です。現在K県で中学校教諭をしています。今年4月からA島在住です。先生の生涯学習を学んで20年以上経ちましたが、協働には程遠い状況です。もう一度先生の講義を受けて、元気をもらいたいです。せめて先生の著書を購入したいのですが、Amazonでは在庫切れでした。お名前を検索して、このホームページにたどり着いた次第です。懐かしさのあまり、衝動的にメールしました。失礼の段お許しください。

メールの送り主は、上掲のように、現在K県で中学校の教師をしている〇〇君である!ゼミや同じ学科・コースの卒業生ではなかったこともあり、名前だけは幽かに覚えているが、具体的な記憶は、ほとんどなかった卒業生である(本人には申し訳ないが!)!聞くと、年齢は51歳で(大学入学も、少し遅かったようである?復学者?確か、そのことで、最初話をしたような記憶もある?)、私の、生涯学習/社会教育に関わる授業を受けていたということであるが(社会教育主事の資格取得をしていたかどうかは分からない?)、そうしたテーマ・分野に興味をもっていた学生であったということではある?!

ちなみに、彼とは、すぐに連絡をとって、電話で話をしたわけであるが、これまで、彼に、どのような歳月が流れていたのか?それについては、ほとんど知る由もなかったが(当然ではあろうが?)、「協働には程遠い状況」とか、「もう一度先生の講義を受けて、元気をもらいたい」とかという書き振りが、具体的には、一体どうということなのか(最後の、Amazonの件は笑えるが!)?そういうことを発している彼の心境は、奥底で?どういうことを伝えたいのか?ただただ、懐かしさだけでは、今回のようなメールとはならない?!そういうことを思って、すぐにでも電話で話せるようにしたのであるが、改めて、嬉しい?メールであったことは間違いなく、しかし、一方では、心配ではあったわけである?!

声の調子だけで判断することは出来ないが、新天地(転勤先)のA島で、決意も新たに?教員生活を始めているということであったように思うが、それまでに何があったのかは、子細には分からなかった(精神的に辛かった?)?!取り敢えずは安心した私であったが、51歳という年齢(人生経験?)が、今回のような、ある種の「プレイバック?」を求めたということであろうか?!考えてみると、50代(突入?)というのは、そういう年齢でもある?!私も、確かその頃、そうした「プレイバック?」の世界を漂ったことがあったように思う(結局は、それ自体からは、何も生まれなかったが?)?!

まあ、それはともかく、こうした卒業生達(それに限ったことではないが!)が、私のHPに辿り着き、何らかのコンタクトを取ってくれれば、これほど喜ばしいことはない(ただ、見てくれるだけでもよい!)!余計なことだが、そうしたことが、私の、下手なHP作成の目的(やりがい)でもあるわけである!否、拙宅を「教育協働研究所~岳陽舎~」と名付けて、人々との多少の?交流、社会参画を試みている次第なのでもある!今後、彼(ら)が、これを機会に、いつでも気軽にコンタクトしてきてくれればよいとは思いますが、それはまた別な次元の話ではあろう?!とにかく、自分(達)なりに(ここが重要!)頑張っただけ欲しい!そう思うだけである!

(2) 奇妙な4人での再会(飲み会)!これもまた、本当に久しぶりであった!

次に、これもまた、つい先日であるが、懐かしい、元若者?達との再会があった!どうしてこんな顔触れ(4人)で、そして、まったく予想もしていなかった外での飲み会?となったのか!それもまた、ここでの話題として、相応しいようにも思う?!というのも、その顔触れとは、まずは、ある時期ゼミ全体で交流していた、あるNPO(公民館の受託者)のスタッフで、一生懸命に頑張っていた若者であるが、その後、ある事情から、そのNPOを離れ、少年サッカーのコーチをしながら、まったく別な人生を歩んできたM君。この間(と言っても、かなりの歳月の後!)、数回?、電話で話したことがあるが、直接会った(再会した)のは、今回が初めてである(否、N空港で、一度顔を合わせたことはあったらしい?)!とにかく、彼が、今回の再会(飲み会?)の発起人であった!

もう一人は、その頃のゼミの卒業生であるが、教員採用試験に幾度となく苦戦?し、今なお、挑戦し続けているK君である。とにかく、年数がかかり過ぎている(そこには、何か人には言えない苦悩?みたいなものが沈潜していないか?そうしたことを思いながら、毎年吉報を待っているわけであるが!)?!結婚式にも呼ばれ、その後2児の父親となっていることは、風の便りで知っているのであるが、肝心の正式採用には至っていないのである(しかも、正直、あまりよくない?噂も耳にしていた!)

要は、上記二人は、私との出会い(様々なことを一緒にした!楽しかった思い出も沢山ある!)の後、私の知らな

い人生・経過があり、多分？私には会いたくない（会えない？）というような状況・思いがあり、これまで過ごしてきたのではないか（ある意味、それが普通かもしれないが！）?!私は、そんなことを、一方で思いながら、いつのまにか？、ほとんど思い出さない卒業生・メイト生としていたのである?!冷たい？教師であったということでもある?!ちなみに、彼らは、すでにオジサン?となっている！

ということで、今回の経緯は、その二人が、K君が、現在勤務（非常勤?）している小学校で偶然出くわしたらしく、しかもそこで、久しぶりに私に会いたい（飲みたい?）ということになり、M君と懇意でもあった、現在、N市のH公民館の館長をしているMs（こちらM）君にも声をかけて、私を入れた4人で、懐かしい再会を果たしたというわけである！Ms君は、同公民館を、まさに全国的（ある意味世界的?）に著名なものとする活躍をしている若者?であるが、彼とは、別件で、つい最近再会していた！私の気持ちとしては、彼の背後にいる？エジプト人M（これもまたM）さんの思い出（申し訳なさ?）もあり、それなりに複雑ではあったが、すべては懐かしい、しかし、若干奇妙な？顔触れの飲み会となったということである?!

結果は、多少（かなり?）コロナの心配もあったが、M君の知り合いの店（U市在）で楽しい一時が過ごせたのであるが（料理はおいしく、特に「日本酒（冷酒）」は、最高であった!）、ここで言いたいことは、私の思い（心配?）とは裏腹に、今は、彼ら（二人）は、それなりに?頼もしく生きているように思えたということである！表情も、一人前の大人?のそれであった！本当に良かった！そう思えたのである！

冷静に受止めれば、それだけの歳月が流れたのである！傍からどう見えようが（ここが心配だったのである！そして、それに対して、何の手助けも出来ない私が、情けなかったのもある?）、今、彼らなりの生き方・生活を築き上げているのである（だから、私に会おうとも思えた?）！こんな再会もあるのだと思いつつ、少しふらつく足を気にしながらも、楽しく別れることが出来た（それでよいM君/あと少しだK君!共に頑張れ!もう大丈夫だ!）！

(3) こうした再会に、もう一つの喜びがある?!これも、私の、「教育協働への道」である?!

そう言えば、これも先日、また別の卒業生が、我が「岳陽舎」を訪れてくれていた！O君とH君であるが（O君は1歳?の愛娘と、K君は、奥さんと4歳の愛息子と！ちなみに、その奥さんも、一応?教え子である!）、この二人も、それなりに心配?していた卒業生なのであるが（彼らも、状況は違うが、先の二人と同じように、私からすれば、心配の対象であった！本人達は、どう思っていたかは知らないが?）、その心配?をよそに、現在、O君は、正規の小学校の教師、H君は、あるNPOの有カスタッフ?として、社会的にも、家庭的にも、それこそ安定した生活を送っている！このコロナ禍の中、家族連れで訪ねてきてくれたわけであるが、これもまた嬉しい限りであった！

そして、今日もまた（さっき!）、二人の卒業生が顔を見せてくれた！私の最後のゼミ生、(Y→) K君とO君であるが、私が参加出来なかった、昨日のT君の結婚式（披露宴?）の参列のため、K君は、M県から来ていたのである（M県の土産をもって!ただし、K君は、例のセミナーに参加しており、何故か?久しぶりという気はしなかった?）！昨日の披露宴?のことや、参列していた卒業生のことも聞いて、楽しかった！彼らは、最後のゼミ生であるが、最近、職場（転勤等）や家庭の事情（結婚/子育て等）、そして、今般のコロナ禍によって、ほとんど顔を合わせる事が出来ずにいるが、これもまた、新たな歳月の流れということであろう?!

以上、今回は、表向きは、ここでの「教育協働への道」とは直接関係はないが、卒業生や、多少なりとも縁があった多くの若者達の、その後の消息や生活振りを、今でも知ることが出来るということは（もちろん、ほんの一部ではあるが!）、今の私にとっては、大変嬉しく、逆に元気づけられるということである！それは、ある意味、私の、もう一つの「教育協働への道」というようにも言える?!一介の大学教師として、若い学生/縁の若者達に、どのような思いや生き様を見せてきたのか（その時々喜怒哀楽、無様な姿?まさしく、彼らは、そういう光景を目の当たりにしていた!）?退職（定年前倒し）前後のドタバタ（うろたえ?）もあって、そちらの方への眼差しが、今はもう、すっかり色褪せたものとなっている（無理矢理忘れようとしている?）私であるが、こうした再会によって、否が応でも、往時を思い出されるのである！

偶然?行くことになった沖縄&R大学、そこでの若者達との出会い、交流!そのことのみを志し、かなり遅めの念願成就ではあったが、本当に素敵な歳月をもらったものである（彼らとの飲み会あるいは結婚式への参加等も含めて!）!俗に言う「教師冥利!」ということであろうが、そのことを、素直に喜べていなかった自分が、一方でいたということでもある!しかも、その中には、追い込んだり、途中で離れていったりした若者達も、少なからずいる!その後のことが気掛かりではあるが、でも今は、新たに出くわしている、それぞれの場所、それぞれの人間関係の中で、様々なことを思いながらも、彼らは、逞しく生きていっていることであろう?!

くどいようだが、上記彼らのことはもちろんであるが、思い返せば、様々な学生達との出会い、交流（事実上は、私に付き合ってくれた?）があったものである?!そして、これもよく言われるが、教師は、出来の良くなかった?学生ほど、よく覚えている（私の場合は、その逆かも?）?!そこには、何も出来なかった!結局は、彼らに対して、何もしてあげられなかった!そういう後悔（苦い思い出?）が、伏在しているということでもある?!そんなことを思いながらの、ここでの執筆であるが、それもこれも含めて、私の人生、沖縄での思い出ということであろう!それだけは、確かな事実なのである!